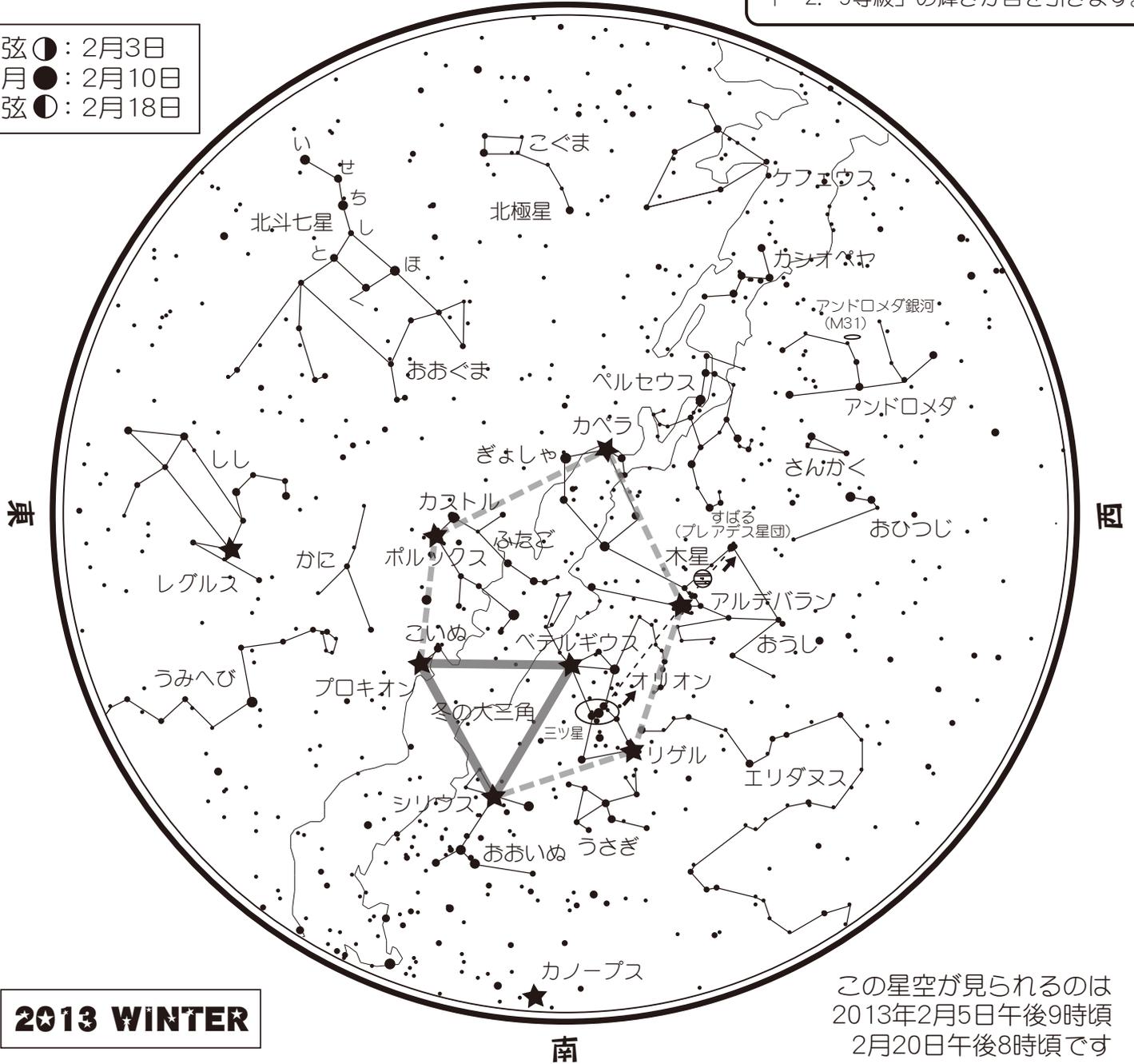


★ 姫路で見る2月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星を見よう★
午後9時頃、西の空高くに見えます。
今年はおうし座の中に見え
一等星よりも明るい
「-2.5等級」の輝きが目を引きまます。

下弦☾: 2月3日
新月☾: 2月10日
上弦☽: 2月18日



2013 WINTER

この星空が見られるのは
2013年2月5日午後9時頃
2月20日午後8時頃です

現在-2.5等級の明るさを持つ木星が、西の空高くに見えます。しかし、木星は毎年見える場所が変わり、来年は違う星座に見えます。そこで、星座探しは南の空に見えるオリオン座から始めましょう。

オリオン座は、ベテルギウスとリゲル、二つの一等星を持ちます。二つの星の間に見える「三ツ星」は、他の星座を探す目印です。三ツ星を線でつなぎ地平線にのぼすと、おおいぬ座の一等星シリウスが見つかります。ここに、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを加えると冬の大きな三角ができあがります。

次はオリオンの三ツ星から、おうし座の一等星アルデバランを探しましょう。オレンジ色のアルデバランを見つけたら、さらに線をのぼして、おうし座の肩の部分に見える星団「すばる」も見つけてください。

また、オリオン座から北の方向に目を向けていくと、天頂付近に一等星カペラと五角形が目印のぎよしゃ座が見つかります。ぎよしゃ座のやや東よりに見える明るい2つの星はふたご座で、兄のカストルが二等星、弟のポルックスが一等星です。

東の空にはしし座やおおぐま座など春の星座も見えますので、冬の星座と合わせて探してみましょう。

姫路科学館プラネタリウムは休演中です

2013年3月16日にリニューアルオープンします!お楽しみに☆